

## 本院での研究に関するお知らせ

2025年12月04日

本院では、患者様の診療情報等を用いた研究を実施しています。この研究は、日本磁気歯科学会の倫理審査を経て実施される研究です。ご自分の診療情報等が本研究に用いられることを望まれない患者様は、末尾に記載した連絡先にご連絡ください。望まれない場合でも不利益を受けることは一切ありません。

研究課題名	多施設共同研究に基づく磁性アタッチメント義歯の予後評価
研究責任者	日本磁気歯科学会 臨床評価委員 永田和裕
研究体制	研究分担組織 東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 生体補綴歯科学分野 徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔顎顔面補綴学分野・講師 永田和裕・長岡デンタルコミュニケーションズ 北海道大学大学院歯学研究院口腔機能学分野口腔機能補綴学教室 明海大学歯学部機能保存回復学講座有床義歯補綴学分 東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野 愛知学院大学歯学部有床義歯学講 九州歯科大学口腔機能学講座顎口腔欠損再構築学分野 日本大学歯学部歯科補綴学第Ⅱ講座 鶴見大学口腔リハビリテーション補綴学講座 福岡歯科大学咬合修復学講座有床義歯学分野 神原歯科
研究（症例）の背景・目的・意義	現在、磁性アタッチメント義歯に関する客観的で包括的な予後データは十分にそろっていません。そのため本研究では、磁性アタッチメント義歯の長期的な経過を調べ、今後の臨床に役立つ客観的で信頼性の高いデータを得ることを目的としています。
研究対象	磁性アタッチメント義歯保険導入（2021年）後に磁性アタッチメント義歯を装着された患者様で、文書による説明に同意した、あるいはオプトアウト方式（研究対象からの除外を希望する制度）による不参加の申し出をされなかった患者様。
研究方法	定期的なリコール（定期検査）の時に、共通評価表を使用して予後評価を行います。
研究実施期間	2025年12月1日～2025年11月30日（患者さんごとに異なります）

研究（症例）に用 資料：  
いる資料・情報の 磁性アタッチメント支台歯および磁性アタッチメント義歯の予後データ  
種類 情報：  
・磁性アタッチメント支台歯および磁性アタッチメント義歯の経過データ  
・支台歯および義歯の喪失、再製、修理、交換の記録  
・歯周病や二次カリエスなどの追加治療の有無  
・義歯の使用感に関する評価

個人情報の保護 収集された資料は、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針及び個人情報の保護に関する法律に基づき、個人が特定されないように厳重に取り扱います。収集された患者様の研究データは、本研究機関の研究責任者のもとで個人情報管理者が管理し、匿名化されたデータを、臨床評価委員会で集計保管します。論文提出後は、予後データの問い合わせに対処出来るように、匿名化データを臨床評価委員会で保管します。

#### お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。また、不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：永田 和裕

部局等：日本磁気歯科学会 臨床評価委員会

住 所：〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-27-2-2F（株）ケイ・コンベンション 内

電 話：03-5367-2409

当院における連絡先：

研究責任者：坂口 究 口腔機能補綴学教室 教授

義歯補綴科 外来 011-706-4346（内線 4346）